



大反魂草・背高泡立草の侵攻

ユウパリコザクラの会代表 藤井 純一

気が付いたらオオハンゴンソウが、ヒュッテ北西角の薪原木を置いてある所に、五、六株黄色い花を咲かせていた。以前から駐車場ゲートから上には絶対に外来種は侵入させてはならないと思っていたが、ついにやられてしまった。オオハンゴンソウ学名 *Rudbeckia laciniata* はキク科の多年草で環境省指定特定外来生物です。北米原産で日本へは明治中頃観賞用として導入された。種子や地下茎で繁殖するため、根絶には困難を極める植物である。



ヒュッテ裏でオオハンゴウソウの除去を行う

第113号

2020.10.05 発行

(令和2年)

ユウパリコザクラの会

事務局

〒069-0835

江別市文京台南町 53-13

TEL/FAX 011-387-1385

携帯 080-6090-1839

E-mail

info@yuparikozakura.org

Website

http://yuparikozakura.org

ようこそ花の夕張岳へ

<https://www.facebook.com/yuparikozakura/>



近辺のセイタカアワダチソウ

以前北大に勤めていたことがあり、年に一回職員及び学生を動員して一斉駆除を行ったが、何の変化も見られませんでした。むしろ年々繁殖の域を増やしているように思えました。一株に1600粒の種子ができるそうで、車のタイヤか薪の原木に付着して、ヒュッテまで来たのであろう。

一方セイタカアワダチソウであるが、駐車場のバイオートイレのところにも数株生えていた。学名 *Solidago canadensis* var. *scabra* で、これも北米原産のキク科の多年草で種子と地下茎で繁殖する植物である。十朱幸代の戸わたしにや沖縄遠すぎる戸なんてセイタカアワダチソウの歌がありました。

れっきとした駆除すべき植物です。ずっと以前は、旧国道から林道までセイタカアワダチソウが圧倒的に多かったような気がしますが、近年オオハンゴンソウが優位に立っています。どうもオオハンゴンソウとセイタカアワダチソウはすみわけをしているようで、同じ場所に混生しているのはごく稀です。

昨年と今年、菊地事務局長がオオハンゴンソウの密生している鹿島二号橋付近を駆除しました。手に負えない密生度です。駐車場ゲートから絶対に上には侵入させないという気持ちで、上からハンゴンソウ、セイタカアワダチソウを見たら引き抜いてほしいと思います。

アポイ岳の交流会の時見たのですが、川で登山者の靴を洗ってもらうように、洗車ブラシを置いて



アポイ岳の登山口近くにある沢の靴洗い場

てありましたが、我々張岳にもそのような試みをしようと思っ

釣鐘岩に見られる、地質と植物の関係

(地質観察員) 堺 俊樹

(植物観察員) 阿部 博子

釣鐘岩で岩石調査と植物調査を同時平行して行ってみました。わかったことを報告します。

■釣鐘岩の蛇紋岩接触部について

釣鐘岩は夕張岳のノッカーの一つです。ノッカーとは蛇紋岩体の中に入っている岩石ブロックです。夕張岳の蛇紋岩体の中には表面に見えているだけで140個余りのノッカーが確認されています。

(1987 中川地質学雑誌 vol.93) 釣鐘岩は山頂の北西約500m地点、蛇紋岩風衝撃地の東隣のノッカーで、釣鐘のような形をしています。(図1) ノッカーは長い間地下で蛇紋岩と接し、地下から上昇する際

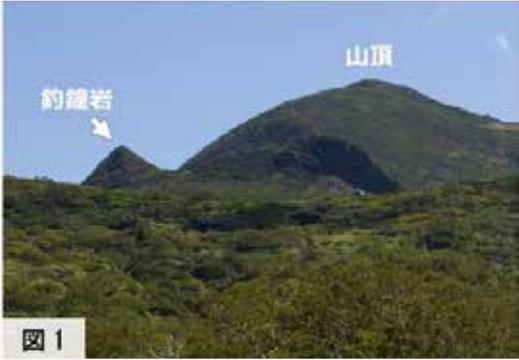


図1

に採まれたと思われるため、蛇紋岩との境界に蛇紋岩の影響が残っている可能性があります。釣鐘岩は蛇紋岩風衝地側に崩れた部分があり、蛇紋岩と接していたと思われる面が残っていました。この崩

れた部分について岩石と植物の関係を見てみました。崩れた部分は図2のような構造になっているように思えました。

A..蛇紋岩と接していたと思われる部分は緑泥石が生じていると思われる。蛇紋岩との接触面の緑色岩側にロジン岩化を受けたような白く硬い部分がある。B..ロジン岩化したと思われる部分より緑色岩本体(緑色岩の硬い部分(C))までは片状に破碎された緑色岩が幅2mくらいの棚になっている。C..緑色岩の硬い部分。

釣鐘岩は緑色岩ないし弱い片理のある緑色岩でできていました。蛇紋岩はかんらん岩から出来ることは知られています。かんらん岩から蛇紋岩に変質する時、全てが置き換わるわけではなく余るものがあるのです。それはカルシウムです。余ったカルシウムはどこへ行くのかというと、蛇紋岩に接している岩石に注入される場合あります。



図2: 釣鐘岩東側

この時、注入された側の岩石の構成鉱物

がカルシウムを含む鉱物に置き換わり、全く別の岩石(ロジン岩という)になるのです。これをロジン岩化作用といいます。相手がどんな岩石であろうとロジン岩にしてしまう強力な作用です。

図2のエリアAの面を図3に示します。ここには蛇紋岩側に暗青緑色の緑泥石と思われる鉱物の層があります。緑色岩側は白くなっています。この部分が蛇紋岩からカルシウムを注入された部分「ロジン岩」ではないかと思われます。蛇紋岩とロジン岩の境界には緑泥石ができるのが普通です。釣鐘岩と接していた蛇紋岩は風衝地の蛇紋岩(アンチゴライト岩という高温で出来る蛇紋岩)と思われる。夕張岳のアンチゴライト岩は非常に多くのカルシウムを吐き出します。露頭が真っ白になるくらいです。しかし、この蛇紋岩の元となったかんらん岩は斜方輝石かんらん岩であり、カルシウム成分は少ないので



図3 蛇紋岩と緑色岩の接触部と思しき場所

す。カルシウムはどこから来たのか、一つに、蛇紋岩の外からもたらされた可能性があります。夕張岳のアンチゴライト岩があるところは石灰岩があるところと似たような環境になるかもしれない

いという観点で植物を見てみることも必要かもしれません。

Bの破碎部の上部は崩れたらしく残っていません。残った下の部分は柵のようになっていました。ロジン岩のところが硬く変化しているため崩れ難いのだと思います。Bの破碎部は割れ目が無数にあり、蛇紋岩側からの影響を受けやすいと思われます。Cの緑色岩本体は破碎部を隔てており、硬く緻密なので蛇紋岩の影響が弱いと考えられます。今回観察できた植物の傾向は以下です。

A・・蛇紋岩地に生育できない緑色岩地の植物

B・・蛇紋岩地に生育できる緑色岩地の植物と蛇紋岩地に生育できない緑色岩の植物が混在

C・・蛇紋岩地に生育できない緑色岩地の植物

Aは、緑色岩が変化してできた部分と思われる、蛇紋岩ではありません。Bは、破碎部であるため、接触していた蛇紋岩が混在している可能性があります。Cは、緑色岩そのものであるため、蛇紋岩の影響はないと思われれます。



図4：エリアA ヤマハナソウ



図5：エリアB ユウパリリンドウ

■ A、B、C各エリアで見られたお花

釣鐘岩のお花を見てみましょう。図2で示したAとCごとに分けてみます。Aは、蛇紋岩と接していましたが、蛇紋岩地の植物はなく緑色岩地の植物でした。(図4)

Bは、蛇紋岩地でも生育できる植物がありました。

ここは破碎帯と思われるので蛇紋岩が混ざっている

可能性があります。

(図5)

Cは、緑色岩地の植物でした。

(図6)

今回の調査では、緑色岩のノッカーには基



図6：エリアC ナガバツガザクラ

本緑色岩地の植物しかない結果でした。

図2の崖錐の部分にも蛇紋岩地の植物は見られないため、緑色岩のノッカー周辺は緑色岩が崩壊し蛇紋岩を覆っているとされます。今後、因果関係を確認するため、釣鐘岩他のノッカーの追加調査を行い明らかにしていこうと思います。

まとめ

| エリア | 植物の傾向 | 見かけたお花 |
|---------------------------------|-------------------------------|---|
| A 蛇紋岩・緑色岩境界（緑色岩が変化したと思われる部分） | 緑色岩地の植物 | ヤマハナソウ、ダイヤモンドソウ、ミヤマダイコンソウ、エゾノキリンソウ |
| B 破碎部（蛇紋岩が混ざっている可能性がある部分） | 緑色岩地の植物に蛇紋岩地でも生育できる緑色岩地の植物が混在 | ユウパリリンドウ、サマニヨモギ、カンチコウゾリナ、エゾミソガワソウ、ヤマハハコ、ミヤマアキノキリンソウ |
| C 緑色岩部（蛇紋岩の影響がないと思われる部分） | 緑色岩地の植物 | ナガバツガザクラ、ダイヤモンドソウ、ミヤマダイコンソウ、タカネナデシコ、ヤマハハコ |

今後のスケジュール（予定含む）

| 月 | 日 | 各行事内容 |
|----|-------------|----------------------|
| 10 | 3（土）～31（土） | ヒュッテ冬囲い&薪整理 |
| 11 | 未定 | 翌年度事業スケジュール検討会議 |
| | 中旬～下旬まで | 2021年度コザクラ会卓上カレンダー頒布 |
| | 下旬まで | 天然記念物25周年ポスター原案 |
| 12 | 26（土）～27（日） | ヒュッテ冬季巡視（1）※予定 |
| 1 | 29（土）～30（日） | ヒュッテ冬季巡視（2）※予定 |
| 2 | 27（土）～28（日） | ヒュッテ冬季巡視（3）※予定 |

※新型コロナウイルス関連の国や北海道などの緊急事態宣言や要請により、予定は変更や延期になる可能性があります。
 ※秋に予定しておりました、高山植物保護ネットワークフォーラム、北海道自然保護連合の会合については、今年度中止が決まっています。

2021年度 卓上カレンダー頒布

ユウパリコザクラの会の2021年卓上カレンダーは、11月中旬を目途に製作を計画しています。今年のテーマは天然記念物指定25周年となった「夕張岳の高山植物群落および蛇紋岩メランジュ帯」としました。昨年同様700円/1冊程度の価格を予定しています。

「夕張岳」新Tシャツ出来ました！

夕張岳のTシャツを作成しました。会員の方の筆文字とイラストを使用して表と裏それぞれ横・縦書きにデザインしています。色は3色、サイズは4サイズの展開になります。ご希望の方は、会のホームページから申し込み可能です。価格は各色・各サイズ1枚¥2,000です。（税込）

| | S | M | L | LL |
|----|----|----|----|----|
| 身長 | 65 | 68 | 71 | 74 |
| 肩幅 | 47 | 50 | 53 | 56 |
| 袖幅 | 44 | 46 | 48 | 50 |
| 袖丈 | 20 | 21 | 22 | 23 |

サイズ表



左からオリーブ（緑）、インディゴ（青）、パーガンディ（ピンク）写真見本はLLサイズ

（コザクラ会員本人様着用は¥1,000になります。）
 送料は2枚まで¥370、4枚まで¥520となります。

ヒュッテ設備工事も順調に

秋元 和之

今年の工事の目玉はレンガ煙突の積み上げです、材料搬入に始まり設計・工法確認等慌ただしく過ぎて行きました。土管の加工も上手くいきよいよレンガ積みの始まりです。なにぶん素人のやる事なので勝手が分からず上手く出来ません、本やYouTubeで調べて見栄え良く積めるようになった頃には夏もすぐそこまで来ていました。

ご協力いただいた方に記念レンガを積んで貰い、足場を組んで順調に進みます。屋根を開けてからは五十嵐さんも加わり、急ピッチで進めています、今は煙突の先をどの様にするか、皆で思案中です。雪が降る前に火入れが出来ますように。

それともう一つ、長年の課題である水道。春先から皆で力を合わせてホースを敷設し、いざ炊事棟の配管工事である。こちらも素人仕事である、銅管口ウづけ。代表に叱咤激励され、流し・風呂・手洗い、蛇口をひねれば水が出る喜びを実感することができました。



会費の継続納入・ご寄付
 ありがとうございます！

夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方は、ユウパリコザクラの会へ入会またはご寄付をよろしくお願い致します。

年会費 2,000円 家族会員 3,000円

名義：ユウパリコザクラの会

ゆうちょ口座：02780-9-43747

【お仕事の例】

- ・監視パトロール（道委託 / 森林管理署協定）
- ・ヒュッテ管理人・維持管理（夕張市委託）
- ・高山植物観察員 / 文化財・森林観察員
- ・各関係団体との交流 / 広報・庶務作業



夕張岳ヒュッテの維持管理
 と炊事棟建設にご支援を！

今年のヒュッテ営業自粛により、協力金としての計上は0円となりましたが、ヒュッテの募金箱などにたくさんの温かい寄付をいただきました。来年度は、延期したプロジェクトの遂行と天然記念物25周年の記念に残る行事が無事できるように、新型ウィルスの終息を願いたいと思っております。

名義：ユウパリコザクラの会

ゆうちょ口座：02780-9-43747

（ヒュッテ用口座はコザクラ口座に統一されました）

